

第6次長期総合計画 基本構想骨子(案)

1. まちづくりの課題

■ 第5次長期総合計画の総括(特徴的な課題)

目指す都市像:『おいしさと笑顔がつどう みなとまち 塩竈』

1編 だれもが安心して暮らせるまち

- 育児環境の変化や家庭の在り方の多様化に伴って増加する育児不安や虐待リスクへの対応
- 超高齢社会の到来に伴う健康寿命延伸への注目度向上に即した健康意識の低い働き盛り世代の健康づくり
- 市民一人一人の防災意識向上、地域の災害リスク理解、「自助・共助」による被害軽減のための具体的行動惹起のための働きかけ
- 人口減少社会での開発意欲低減、望ましい土地利用の欠如、既成市街地内での顕著な都市のスポンジ化

2編 海・港と歴史を活かすまち

- 震災による販路喪失や風評被害、原材料価格の高騰、維持管理費や流通経費のコスト増加など、水産業を取り巻く極めて厳しい状況
- 水産品・水産加工品の認知度の向上・類似品との差別化
- 空き店舗解体等による商店街の空洞化の加速
- 滞在時間延長・回遊促進のための、食の塩竈の情報発信力の向上
- 浦戸の新たな食や景観の魅力発掘と創造による交流人口拡大

3編 夢と誇りを創るまち

- 落ち着いて授業に参加できる学習環境づくりと、家庭における食事、睡眠などの基本的な生活習慣の習得
- 塩竈の文化、芸術を学習資源とした活動の展開による、自分たちの住むまちへの夢と誇りの醸成
- 多様化する様々な地域課題に対して、様々な関係者が対等な立場で、それぞれが持つ資源や関わりを生かしながらの課題解決

■ 新型コロナウイルス感染症がもたらす影響

生活面

- ウイルスを意識した生活様式への変容
 - 高い高齢化率の本市にとって深刻な高齢者の運動能力の低下
 - 日常生活の制約のストレスによるメンタルヘルスへの悪影響
 - コミュニケーションの希薄化による市民活動の低迷
- 過密リスクの表面化や働き方の変化による、都市から地方への転換意識の高まり(リモートワーク、ワーケーション)
- 教育、経済活動、福祉などの様々な分野におけるテクノロジーの活用必要性の高まり(ICTを活用したオンラインでの授業や会議)

経済面

- 外出自粛による販売減や営業時間短縮の影響による売上の減少
- 訪問の制限や商談会の中止などによる水産加工業をはじめとした企業の営業機会の減少
- みなと祭りなど塩竈ならではのイベントの中止や縮小による賑わいの減少

■ 主な時代の潮流

<SDGs(持続可能な開発目標)の取組推進>

- 誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための17のゴール・169のターゲット

<地方創生の推進>

【第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のあり方】

- 人口減少克服・地方創生という目的の明確化を図り、数値目標や重要業績評価指標(KPI)を設定するなど、総合戦略の内容を備え、統合する形で一体的に行うこととしている。

<近未来技術の導入(スマートシティやSociety5.0)>

- 国を中心として、IoT(Internet of Things)の先端技術や人工知能(AI)、自動運転等の技術による、地域課題解決に向けた先進的な取組の推進。

まちづくりの課題

(1)人口減少・超高齢社会進展への対応(ひと)

- 高齢化率が今後ますます高まっていく本市においては、若い世代の流出抑制と流入促進に向けて、子育て環境の充実や教育の質の向上に重点的に取り組む必要がある。
- 様々な世代が、地域社会で役割を担い、いつまでも健康でいきいきとした生活を送れる多世代共生社会の構築が求められている。

(2)暮らしの豊かさや幸せを実感できるまちの魅力度の向上(まち)

- 「市民アンケート」において、住みやすいと思わない割合が41%であった。まずは市民が「住みづづけたくなる」まちづくりを目指さなければならない。
- 食文化や歴史・港など、多彩な個性を生かしたまちづくりを進めることで、地域に対する愛着と誇りを醸成することが重要となっている。

(3)地域の個性を十分に活用した産業振興(しごと)

- 水産業・水産加工業をはじめとした各産業の個性や多様な資源を有機的につなげ、地域一体となったイノベーションの創出を図る必要がある。
- 「企業アンケート」でみられた深刻な人材不足に対応するため、若者・女性・高齢者・外国人が活躍できる雇用環境を整備する必要がある。

(4)新たな危機への対応(これから)

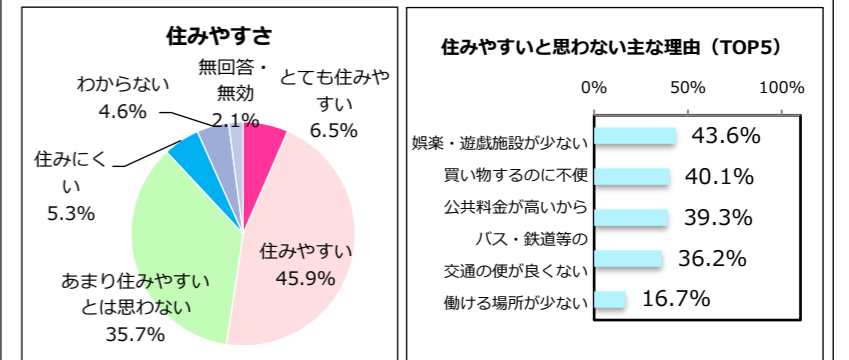
- 新型コロナウイルス感染症は、「新しい生活様式」の実践など我々の日常生活を一変させた。現在の感染症はもとより、想定し難い新たな危機に直面した場合においても、柔軟に対応できる持続可能なまちづくりを進めていく必要がある。

■ アンケート結果

<市民アンケート>

【住みやすさ】

- 本市が住みやすいとは思わない割合は4割となっており、その理由は「娯楽・遊戯施設が少ない」が最も多く、次いで「買い物するのに不便」、「公共料金が高い」、「バス・鉄道等の交通の便が良くない」となっている。



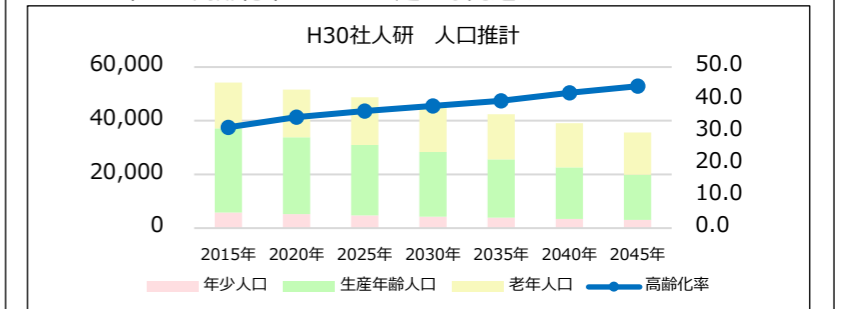
【市の取組評価(満足度×重要度マトリクス分析)】

- 「交通体系の形成」、「生活環境の充実」、「高齢者福祉の充実」、「障がい者福祉の充実」、「良質な住空間の形成」は、重要度は高いが満足度が低い結果となっている。

■ 人口等の動向

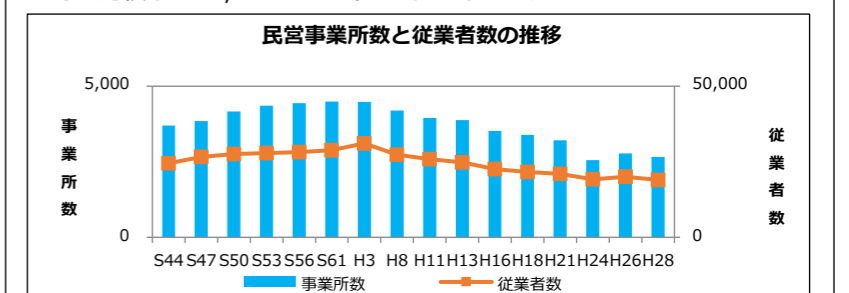
【人口の動向】

- 平成27年国調に基づく平成30年社人研推計では、減少傾向が続き、2040年には高齢化率が40%を超える見込み。



【事業所数等の動向】

- 事業所数はピーク時と比較し1,839事業所の減少、従業者数は、ピーク時と比較し、12,099人の減少となっています。



2. 市民が考える今後のまちづくり①

市民アンケート

【1. まちづくりキーワード】

「食文化」が5割を超え、「観光」・「社」が5割に近く、次いで「港」・「海」・「景観」・「歴史」の順となっており、いずれも25%を超えています。

【2. まちづくりのテーマ】

「住みよさ」が最も多く5割となっており、次いで「安全・安心」、「にぎわい」が4割超、「活力」・「子育て」が2割超となっています。

【3. 塩竈の魅力】

塩竈の魅力は、「鹽竈神社や門前町等歴史文化を感じる観光資源」が約7割となっており、次いで「東北を代表する盛んな水産業・水産加工業」が約45%となっています。

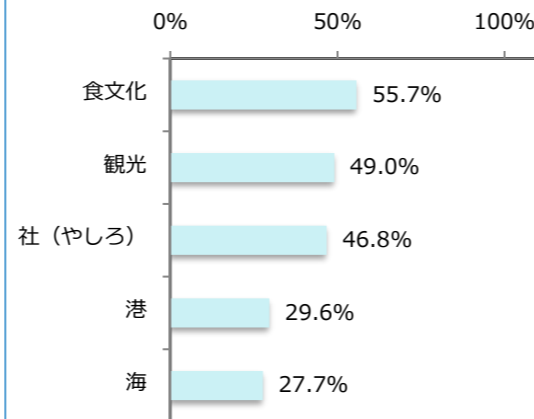
【4. 目指すまちの将来像】

目指すまちの将来像は「歴史や港町としての魅力を売りにした、多くの人を訪れる観光のまち」が約7割と最も多く、次いで「高齢者や体の不自由な方々が安心して暮らせるまち」、「市内・市外への交通が便利なまち」、「安心して子供を産み育てられるまち」の順となっており、いずれも6割を超えています。

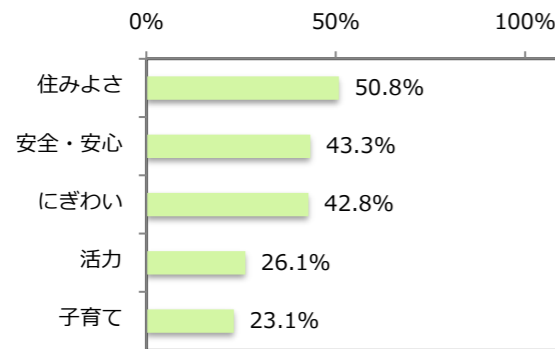
【5. 未来に残していきたい塩竈らしさ】

未来に残していきたい塩竈らしさは、「鹽竈神社」が約35%と最も多く、次いで「歴史的建造物・景観等」、「食文化」の順になっています。

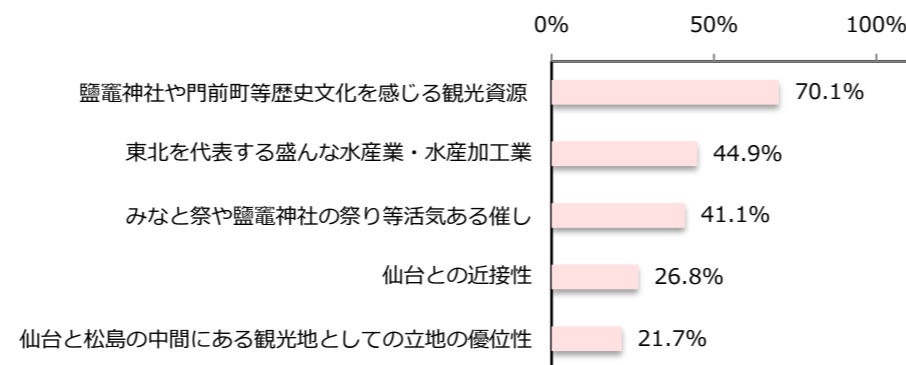
1. まちづくりのキーワード (地域資源TOP5)



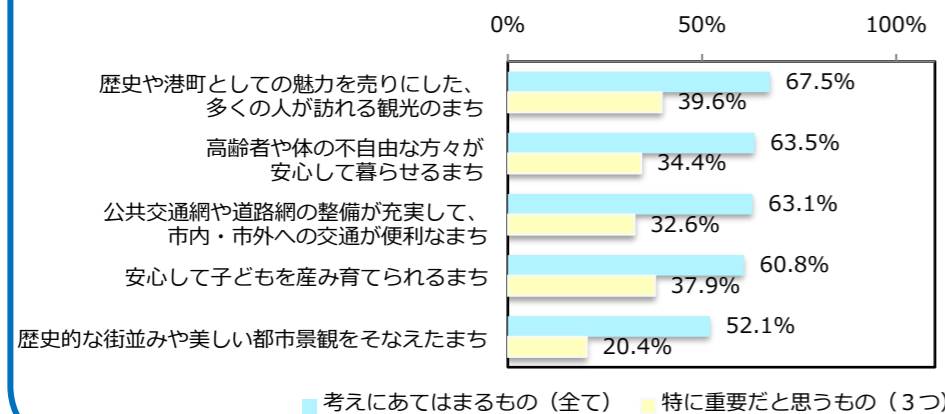
2. まちづくりのテーマ (TOP5)



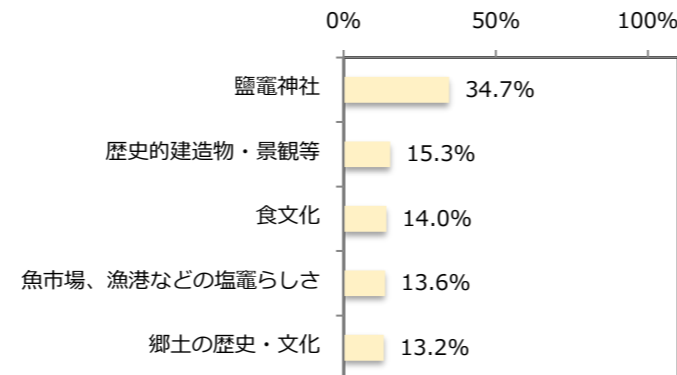
3. 塩竈の魅力 (TOP5)



4. 目指すまちの将来像 (TOP5)



5. 未来に残していきたい塩竈らしさ (TOP5)



企業アンケート

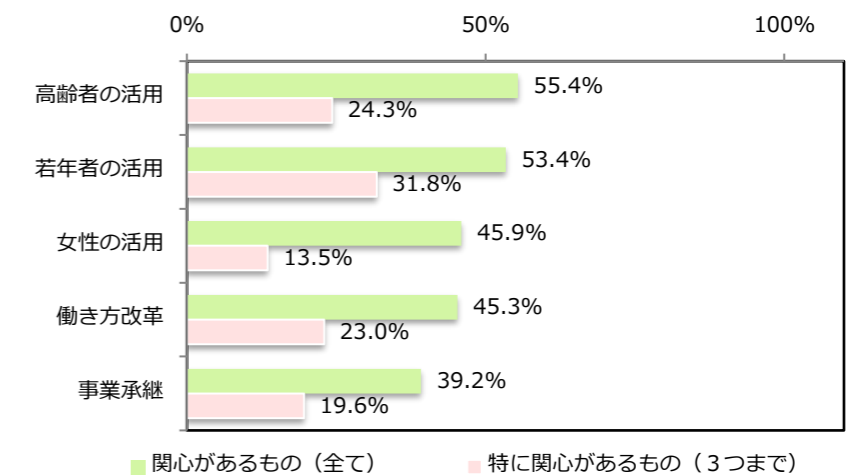
【1. 今後の企業活動において関心のある項目】

地域経済の活性化として、今後の企業活動において関心のある項目は、「高齢者の活用」が最も多く、次いで「若年者の活用」、「女性の活用」となっています。特に関心のある項目は、「若年者の活用」が最も多く、次いで「高齢者の活用」、「働き方改革」となっています。

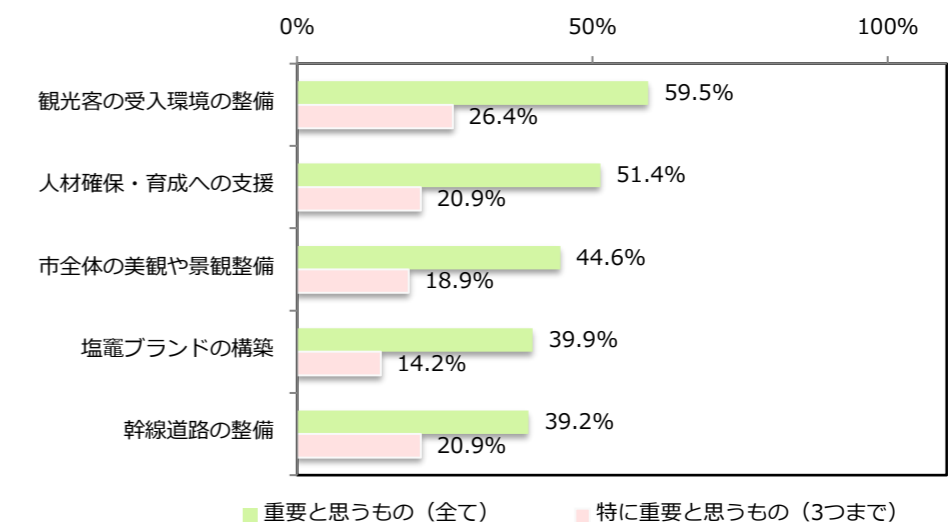
【2. 行政が取り組むべき分野】

産業振興による本市の地方創生を図るうえで、行政の取組で重要だと思う分野は、「観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備」が最も多く、次いで「人材確保・育成への支援」、「市全体の美観や景観整備」となっています。特に重要だと思う分野は、「観光客(外国人旅行者含む)の受入環境の整備」が最も多く、次いで「人材確保・育成への支援」、「幹線道路の整備」となっています。

1. 今後の企業活動において関心のある項目 (TOP5)



2. 行政が取り組むべき分野 (TOP5)



2. 市民が考える今後のまちづくり②

長期総合計画審議会

令和2年2月12日

第3回審議会において、「塩竈の個性や大切にしたいもの」、「今後のまちづくりの方向性」についての意見をいただきました。

「個性や大切にしたいもの」として、いただいた意見を「食文化」、「社・歴史」、「港町・浦戸」などに分類しました。

「今後のまちづくりの方向性」については、様々な世代の方々から、「子育て」や「教育」、「福祉」、「産業」など、分野ごとに幅広い意見をいただきました。

塩竈の個性や大切にしたいもの	
個性1：食文化	・魚、かまぼこ、塩、海苔、牡蠣、寿司 ・寿司、酒・酒蔵、地元の飲食店
個性2：社・歴史	・奥州一ノ宮鹽竈神社 ・門前町、和洋折衷等の古い建造物
個性3：港町・浦戸	・海、港湾や漁港、市場 ・浦戸諸島の自然環境
個性4：JPA外・交通	・坂が多いが、歩いて暮らせるコンパクトシティ ・100円バス等による公共交通のネットワーク
個性5：人・風景	・人と人とのつながり ・神社や門前町、浦戸諸島、水揚げ

今後のまちづくりの方向性

1 子育て	・切れ目のない子育て支援 ・安心して預けられる保育環境の整備
2 教育	・地域資源を生かした教育 ・学校教育と社会教育の連携、地域間や海外交流の充実
3 若者	・若者が戻ってきたいと思う環境整備、雇用の確保 ・若者が中心となったまちの魅力向上
4 福祉	・地域の見守りや支え合いの充実 ・高齢者や障がい者の雇用の確保、健康産業の誘致
5 医療	・広域化の視点も含めた市立病院の在り方 ・市立病院の経営健全化
6 浦戸	・浦戸を「県民の島」に ・ステーションなどの有効活用 ・テレワーク環境の整備
7 住環境	・安全安心な道路整備、空き家の有効活用 ・歩きたくなるまち、公園の整備
8 コンパクトシティ	・コンパクトシティや坂を生かす、統一した景観づくり ・公共交通の充実、庁舎の分散解消
9 産業	・産業の柱・拠点づくり ・魚市場と仲卸市場の連携、食育の産業化、企業との連携
10 観光	・若者向けの観光コンテンツの開発 ・ウォーターフロントの活用、神社から門前町への回遊性の構築、



地区別懇談会

地区別懇談会では、今後のまちづくりについて、「若い世代の定住」や「中心市街地の活性化」、「地域資源の有効活用」についての意見が多く、浦戸については、「島外の方々の意見を取り入れた島づくりをしていくべき」といった意見をいただきました。

地区	開催日	主なご意見
東部	令和2年2月20日	・地域の担い手が高齢化しており、若者の定住は必須である。 ・シニア世代がさらに活躍できる社会にするべき。 ・地域資源がたくさんある。それらをつなげる必要がある。
西部	令和2年2月14日	・バスの運行について、鉄道と時間を合わせるなど、 <u>利便性の向上</u> に努めていくべき。 ・子どもたちの学習環境の充実を図ってほしい。
南部	令和2年2月22日	・塩竈は水産の町であることを再認識する必要がある。 ・中心部の賑わいが無くなった。 <u>活性化</u> が必要である。
北部	令和2年7月4日	・若い人が働ける環境をつくる必要がある ・中心部を活性化して、市全体を盛り上げていく勢いが欲しい。
浦戸	・令和元年11月11日 ・17日 ・令和2年7月9日 ・17日	・若い人が働きやすく、定住しやすい環境整備をバックアップしてほしい。 ・島民だけではなく、 <u>来訪者の意見も聞いて島づくりに生かして</u> ほしい。 ・浦戸の良さをもっと発信してほしい。

高校生との意見交換会

令和元年11月8日
令和2年7月20日

生徒会やダンス部、音楽部、サッカー部などに所属する塩釜高校の生徒から、身近な課題や高校生としてのまちづくりへの関わり方などについて意見をいただきました。

若者の夢を応援してほしい。

ボランティア活動など、社会に貢献できる取組を市と一緒にやりたい。

高校生と外国人の交流の機会が欲しい。

コロナ禍では文化部の発表会が無くなってしまった。発表の場を設けてほしい。

公共施設（公民館など）を活用させてもらいたい。

ダンスや音楽などで市のイベントに参加させてもらいたい、一緒に盛り上げたい。

3. 将来都市像・まちづくりの基本理念

まちづくりの課題・視点・手法

1. まちづくりの課題（再掲）

- (1)人口減少・超高齢社会進展への対応(ひと)
- (2)暮らしの豊かさを実感できるまちの魅力度の向上(まち)
- (3)地域の個性を十分に活用した産業振興(しごと)
- (4)新たな危機への対応(これから)

2. まちづくりの視点

調和のとれた持続可能な社会の実現

- ・人口や町並の形成などの歴史的な背景を重視しつつ、発想と価値観の転換により、経済、社会、環境の調和、仕事と生活の調和、人や自然、歴史・文化の調和を志向する。
- ・豊かな暮らしの価値観について、市民や地域が自ら考え、判断し、主体となって実現に取り組むことで、自立した個性豊かなまちを創造する。

3. まちづくりの手法

多様な担い手による協働・共創のまちづくりの推進

- ・行政が担うべき分野はしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの活躍が期待できる分野については、多様な主体がそれぞれの役割を発揮しながら「協働・共創によるまちづくり」を進める。

社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくりの推進

- ・社会情勢の急速な変化や様々な危機に直面した場合にも柔軟に対応できるよう、未来を切り開く人材の育成や近隣自治体との広域連携での地域課題の解決、近未来技術の積極的な活用を推進する。

都市像キーワード

「食の都」、「多彩な魅力」
 「未来へつなぐ」、「港町」
 「10年後のあなたへ」、「コンパクト」
 ……

まちづくりの基本理念(仮)

今ある個性を大切にし、みんなでつなぎ合わせて、
 新しい魅力を生み出し、そして創り上げていく
 未来に続くまちづくり

わたしたちが目指す

10年後のまちのすがた

1. 子ども	子どもたちの笑顔があふれるまち
2. 福祉	みんなが生き生きしているまち
3. 生活	快適で住み続けたいと思うまち
4. 産業	活気があり、誇りをもてる仕事がたくさんあるまち
5. 交流	何度でも訪れたいと思うまち
6. 文化	日常に彩りがあるまち
7. 協働	みんなが主役になれるまち
8. 浦戸諸島	自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま

市民が考える今後のまちづくり

市民・企業
アンケート

長期総合計画
審議会

地区別懇談会

高校生との
意見交換会

※今後開催予定の市民まちづくりワークショップや市民活動団体との意見交換等でいただくまちづくりへの意見については、基本構想素案へ反映させます。

4. わたしたちが目指す10年後のまちのすがた(まちづくりの方向性)

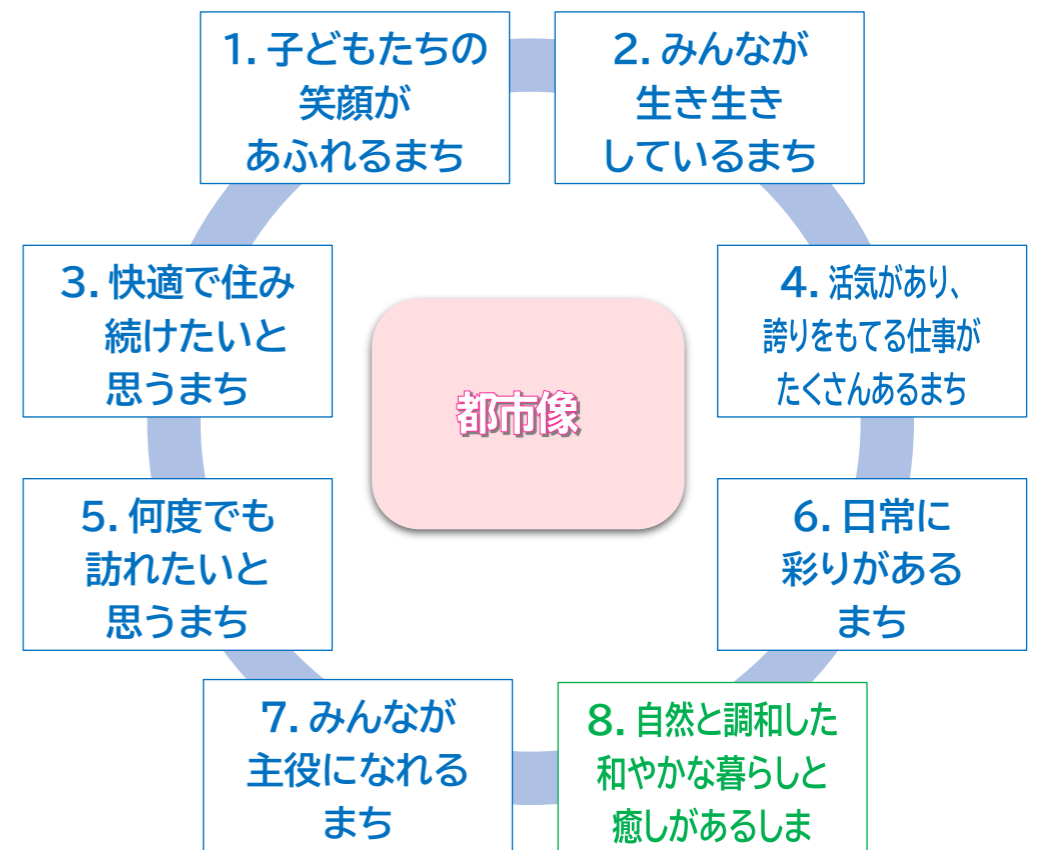
わたしたちが目指す10年後のまちのすがた(まちづくりの方向性)

分野 子ども	 <p>1. 子どもたちの笑顔があふれるまち ～切れ目のない子育て支援と安心して学べる教育環境づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援体制の構築 ② 未来を担う子どもを育てるための学習環境の充実 ③ 世代間交流を推進し、地域全体で子育てや教育を支える体制の充実 
分野 福祉	 <p>2. みんなが生き生きしているまち ～健康で安心して暮らせる地域づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者や障がいのある方など、誰もが安心して暮らせる支援体制の充実 ② 健康寿命の延伸による元気の創出 ③ 安心できる地域医療体制の充実 
分野 生活	 <p>3. 快適で住み続けたいと思うまち ～安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安全・安心に生活できる都市環境づくり ② 機能が集積し、生活サービスが充実した、コンパクトで便利なまちの形成 ③ 豊かな自然と調和した環境にやさしい循環型社会の形成 
分野 産業	 <p>4. 活気があり、誇りをもてる仕事がたくさんあるまち ～活力に満ちた産業づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 数多くの地域資源を生かした「みやぎの台所・しおがま」の創造 ② 創業・事業承継への支援の充実による地域活力の向上 ③ 活力づくりに向けた若者が満足できる雇用の場の創出 
分野 交流	 <p>5. 何度でも訪れたいと思うまち ～観光交流による賑わいづくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 門前町やウォーターフロントなど、地域資源を最大限活用した観光メニューの創造 ② 戦略的なプロモーション活動による新たなニーズの発掘 ③ まち全体が一体となったおもてなし体制の充実・広域連携 
分野 文化	 <p>6. 日常に彩りがあるまち ～生涯にわたって学びあえる風土づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 豊かな歴史やこれまで培ってきた文化を未来へつなぐ取組の充実 ② 生活にうるおいを与える生涯学習・生涯スポーツの展開 ③ 芸術・文化・スポーツなど、各分野で活躍できる人材の育成 
分野 協働	 <p>7. みんなが主役になれるまち ～様々な個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大学や企業等との交流・連携・共創、多文化共生 ② 塩竈の魅力向上に向けた市民活動への支援体制の充実 ③ 効果的・効率的で透明性の高い行政経営 
分野 浦戸諸島	 <p>8. 自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま ～人々が住まい・集える持続可能な島づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 健康で安心して住み続けられる生活環境の充実 ② 浦戸産品（海産物・農産物）の高付加価値化や担い手育成による産業の振興 ③ 浦戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進 

「都市像」の実現に向けて

分野ごとの取組にとどまらず、つなぎ合わせて横断的に施策を展開することにより、産業の活性化、雇用創出、交流拡大、健康増進など、まちづくりに様々な相乗効果もたらされます。

それぞれの「目指すまちのすがた」をつなげて、イノベーションがもたらす新しい魅力を創出することで、「都市像」の実現を目指します。



各分野に関連する事項

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略関連施策
2. 本市のSDGsに関する取組
3. 新型コロナウイルス感染症など新たな危機への対応